

学校給食費無料化について

質問(深澤賢市議員)学校給食費無料化について伺います。

答弁(市長)近年、保護者の厳しい雇用環境から、経済格差のしわ寄せが給食費の滞納など子供たちに及んできております。私は、子供たちの教育を受ける平等の権利確保のために、学校給食費の無料化に取り組むこととしたものであります。

学校給食費の無料化に要する一年間の費用につきましては、平成二十二年五月一日現在の市内



全国に先駆けて各学校での集団接種を行っています

小中学校児童生徒数によりまして試算をしてみますと、小学校児童が四千二百二十一名、中学校生徒が二千三百三十名、合わせて六千三百五十一名であります。今年度から学校給食事業に対し児童生徒一人当たり月額百円の助成を行っておりますが、この部分を含まずして無料化に要する経費は年間小学校が一億九千三百七十七万円、中学校が約一億二千四百四十六万円、合わせて三億二千八百三十三万円が見込まれますので、実施に

ワクチン接種の集団接種について

質問(小池利雄議員)子宮頸がんワクチンの集団接種について伺います。

答弁(市長)ワクチン接種に当たりましては、市内二十三の小学校を通じて対象となる六年生女児世帯への周知徹底により接種への理解促進を行い、接種希望取りまとめをいたしました。その結果、接種対象児童三百三十四名のうち希望しない児童は二名で、接種希望と実施児童は三百三十二名となり、99.4%の高い接種率と

なっております。個別接種児童が三名ほどおります関係で、学校での接種実数は三百二十九名となっております。また、事情により市外の小学校に通学している児童が六名おりました。このうち四名が大田原市での接種を希望しております。

状況を確認して、集団接種を実施しております。少人数の学校は、複数校まとめて接種する方法及び巡回して複数校実施する方法を採用するなど、全希望者の三百二十九名の三回にわたる接種は延べ三十六日間の接種日数により完了する予定となっております。現在まで円滑な集団接種が行われております。また、今回の全国に先駆けての集団接種はマスコミ等にも大きく取り上げられ、担当課には全国各地の自治体や住民の問い合わせも多く、他市町の住民からは本市の対応に対し評価をする声もいただいております。

当たりましては安定的な財源確保が要求されますので、実施時期、実施方法を調査、研究してまいりたいと思っております。

学校給食費と子ども手当との関連につきましては、今年六月から支給が開始されておりますが、保護者に支給される手当てであり、現時点の制度のもとでは学校給食費無料化とは関係がなく、切り離して検討すべきものであると考えております。しかしながら、今後は国の動向等注視をしながら、必要があれば給食費の助成に回せるよう国に働きかけていきたいと思っております。



学校給食費の無料化に取り組みます